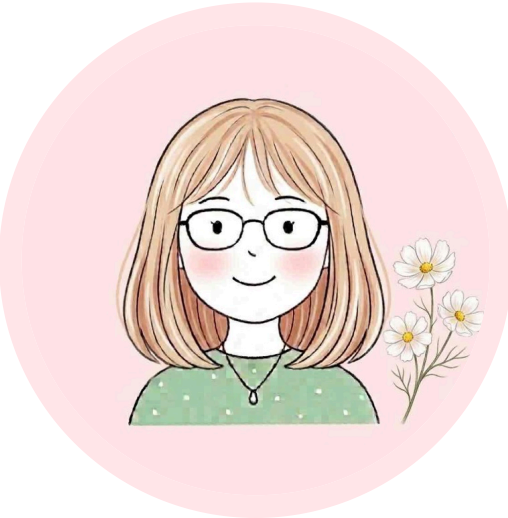
ClaudeCode講座の練習として作った提案です。

クラウドワークスアカデミーの公式の資料ではありません。また、依頼を受けて作ったものでもありません。講座ページ（2026年11月に見たもの）と、私自身の受講体験をもとに、受講生の私が考えた提案です。

受講生の練習課題｜クラウドワークスアカデミーへの改善提案（想定）

Claude Code講座【初級】のページ改善の提案

受講生の目線から、申し込みを迷う方が、安心して選べるページに



この提案の要点

- 今のページからは、「誰のための講座か」「利益を上げるための価格設定をしていない、という考え方」がしっかり伝わってきました。そのうえで、**この講座ならではの強み**を、もう少し言葉や形にできそうだと感じました
- 考えた改善案は、次の2つです：①**「ひとりだけで学んでいるわけではない」ことを「選ばれる理由」に入れる**／②**受講生が作った物の実物を見せる**
- どちらも、**文章づくりや確認のお仕事**として、私がお手伝いできることを添えました

作った人

Claude Code講座【初級】受講生／ライティング・AI活用・裏方サポート

2026年11月

今のサイトで分かったこと

よく伝わっていることと、もっと伝えられそうなこと

よく伝わっていること

- **誰のための講座か**
  「非エンジニアの方を対象」「コードを書かずに」と書かれ、悩みの例も対象の方に合っていると感じました

  > CASE 1 Claude Codeが気になるけど、難しそうで手を出せない
  > CASE 2 AIに毎回同じ説明をするのが手間で、使いこなせていない
  > CASE 3 AIを使えても、仕事の獲得にどう生かすか分からない

- **仕事をとるための成果物が残ること**
  Week 1 自己紹介スライド／Week 2 改善提案の資料・note記事／Week 3 ポートフォリオサイト・図解PDF・学びのnote記事と、3週間の流れが細かく書かれています

- **実名の講師と受講生の声**
  講師の名前・肩書き・著書と、受講生が実名で書いたnote記事3件が載っています

- **アカデミーの考え方**
  「仕事のデータをもとに、求められているスキルを選んで講座にしている」「利益を上げるための価格設定をしていない」。ページの下のほうにあるので、目に入りやすい場所でも伝えられそうです

もっと伝えられそうなこと

- **ひとりだけで学んでいるわけではないこと**
  メンターへの質問・相談や添削は、今は、FAQ（Week 2のnote記事をメンターが添削）と、アカデミーの紹介（受講中は何度でも質問・相談できる）の中で触れられています。「選ばれる理由」にも入れられそうです　→ 改善案①

- **受講生が作った物の実物**
  3週間でどこまでできるかが伝わる画像は、見つけられませんでした　→ 改善案②

- **無料説明会の案内**
  講座ページとセミナー一覧では、見つけられませんでした

- **1週あたりの時間の目安と、合計の費用**
  FAQには「好きな時に学習可能」とあり、時間の目安は見つけられませんでした。Claude の有料プランの金額は、公式サイトで確かめる形になっています

受講生として（私の場合）

迷ったこと
Claude Code をまったく触ったことがなく、初心者が3週間で、どこまでできるか

決め手
メールで知った無料説明会で、実際に作った資料を見ながらの説明がわかりやすかったこと。「初級」という名前

気づいたこと
決め手になった無料説明会や、強みだと感じた受講中の個別相談が、ページからも伝わると、もっと安心して選べそうだと感じました

2026年11月15日・16日に講座ページを拝見しました。講座内容の Week 1〜3 の画像は、週の番号を示すカレンダーの絵でした。すでに載っているものがあれば、ご容赦ください。

似たサービスとの違い

はっきりした強みがあります。申し込む前に「見て確かめられる」ものがあると、さらに心強そうです

	アカデミー【初級】	無料の入門講座（40分〜1時間ほど）	アプリづくり中心の講座（10日〜3ヶ月ほど）	短時間の研修（2時間ほど）
主に作るもの	提案資料・note記事・ポートフォリオサイト	作らない（説明が中心）	業務アプリ・Webアプリ	業務レポート
仕事をとることへのつながり	**強い**	ほとんど触れていない	弱め	会社員の業務改善が中心
質問・添削・相談	何度でも質問、添削、受講中の個別相談	ほとんどなし	質問はできる。添削はところによる	その場で質問
講師・受講生の声	実名の講師、実名のnote記事	講師の名前はあることが多い	名前や声がないことが多い	講師の実績を大きく見せている
申し込む前に試せるもの	ページには見当たらず（説明会はメールで案内）	講座そのものが無料	途中まで無料体験、無料セミナー、受講画面や作れる物の画像	あまりない

受講生の私が感じた強み

- 副業・フリーランスで**仕事をとるところまで**見ている
- 実名の講師と、実名の受講生の声
- 無料講座より深く、長期のスクールより軽い、3週間・添削つき

これから伸ばせそうなところ

- 教え方や作れる物を、**申し込む前に見られるもの**
- 1週あたりの時間の目安
- 次にいつ受けられるかの見通し

この提案の2つの改善案は、今ある強みを「見える形」にするためのものです

2026年11月15日に、似たClaude Code講座6つのページを見て、種類ごとにまとめました。内容は各社がいつ変えてもおかしくないため、目安としてご覧ください。

選んだ改善案 ①

「ひとりだけで学んでいるわけではない」ことを「選ばれる理由」に入れる

見込み：大

一部、運営の方の確認が必要

課題

何度でも質問できること・添削・受講中の個別相談は、今はFAQとアカデミーの紹介の中で触れられています。受講生の私が強みだと感じたところなので、「選ばれる理由」でも伝えられると、より目に入りやすくなりそうです。

変えること

「選ばれる理由」に、**ひとりだけで学んでいるわけではない講座**として、何度でも質問できること・添削・受講中の個別相談（進み具合や案件獲得の目標を相談できる）を、わかりやすく載せてはいかがでしょうか。

期待できる変化

AIだけで学ぶ独学や、相談先のない講座との違いが伝わりやすくなると思います。「一人で3週間続けられるか」という不安が軽くなり、申し込む前の迷いが一つ減るのではないかと考えています。

私ができること

- 「選ばれる理由」とFAQの文章を、いくつかの案でお作りできます
  受講生として、申し込む前に迷ったことと決め手を知っているので、その目線を文章に活かせたらと思います
- 運営の方の言葉を大切にして書きたいと考えています
  チラシづくりでも、いただいた言葉の意味合いを伺ってから使ってきました
- 書いたことが事実と合っているかを、一つずつ確かめながら進めます
  請求書の審査を10年担当し、根拠の書類と一つずつ照らし合わせてきました。大げさな表現は使わないよう心がけます

講座ページ（2026年11月）の「選ばれる理由」から引用

01 コードを書かずに使い始める

02 使うほど育つ自分専用AIに

03 提案資料とサイトを作って公開

受講生の私が考えた、加える文章のたたき台（公式の文ではありません）

ひとりだけで学んでいるわけではない

受講中は何度でも質問できます。note記事はプロが添削。進み具合や、この先の案件獲得の目標も、個別に相談できます。

実際に提案するなら、運営の方に確かめたいこと 受講中の個別相談のしくみ（回数・相手・時間）、ページにどこまで載せるか、4つ目として加えるか入れ替えるか

選んだ改善案 ②

受講生が作った物の実物を見せる

見込み：大　一部、運営の方の確認が必要

課題

申し込む前にいちばん迷いやすいのは「初心者が3週間でどこまでできるか」だと思います。受講生が作ったポートフォリオサイトや提案資料の画像は、見つけられませんでした。似た講座には、作れる物の画像を見せているところもあります。

変えること

ご本人の許可をいただいたうえで、受講生の成果物の画像に「Week 何で作ったか」の短い説明をつけて並べてみてはいかがでしょうか。受講生の声と組み合わせることもできそうです。

期待できる変化

受講したあとの自分の姿を、イメージしやすくなると思います。「何が作れるのか」を見てから申し込めるので、中身が見えないことによる迷いが減るのではないかと考えています。

私ができること

- Claude Code で作った私の自己紹介資料を、例の一つとしてお出しできます
  ほかの受講生の許可を待たずに、まずは形にしてご覧いただけます
- 受講生へ許可をお願いする文面の下書きをお作りできます
  相手が次に何をすればいいか、ひと目でわかる文面を心がけてきました（社内の営業担当とのメール、お客様へのメール対応）
- 載せる画像の選び方や、説明文づくりもお手伝いできます
- 載せる前の確認も、ていねいに行います
  画像の中に、個人の情報や仕事の相手の情報が入っていないかを一つずつ確かめます。守秘義務を守ることを大切にしてきました

並べ方のイメージ



実際に提案するなら、運営の方に確かめたいこと　受講生への許可の取り方と、載せる範囲

ほかの改善案

そのほかに考えた改善案

改善案	変えること	見込み	私のお手伝い	運営の方の確認
受講後に応募できそうな仕事の例を書く 次に提案したい	「仕事のデータをもとに講座を選んでいる」の近くに、クラウドワークスで募集されている仕事の種類の例を載せる	中	一部できます	一部あり（載せる仕事の例）
受講生の声の「ひとこと」を出す 小さく始めるなら	note記事から1〜2行を、許可をいただいて載せる	中	できます	一部あり（許可取り）
無料説明会をページから見えるようにする	次の日程、または過去の説明会の要点を載せる	大	一部できます	**あり**（開催や録画）
時間の目安と、合計の費用を書く	1週あたりの時間と、講座代＋Claude の有料プランの目安	中	一部できます	一部あり（時間の目安の確認）
受付停止中の見せ方を変える	次の開講の目安と、LINEで再開を知らせることを上のほうに	中	一部できます	**あり**（開講の時期）
ほかの学び方との違いを表で見せる	独学・無料セミナー・長期のスクールと、種類で比べる	中	できます	なし
サンプル動画・無料体験を置く	講座の動画の一部を、申し込む前に見られるようにする	大	難しいです	**あり**（講座の一部を無料で出すか）

実際に提案するなら、まずは改善案①の文章のたたき台から、お手伝いしたいと考えていました。

「見込み」の大・中・小は、申し込みを迷う方の不安にどれだけ答えられるかを見た私の見立てです。効果を数字でお約束するものではありません。「難しいです」「一部できます」としたのは、動画の制作や人前に立つ役など、私に経験がないお仕事や、お受けしていないお仕事が入る案です。